

平成29年度 前橋高等看護学院自己評価結果

1. 自己点検・自己評価についての取り組み

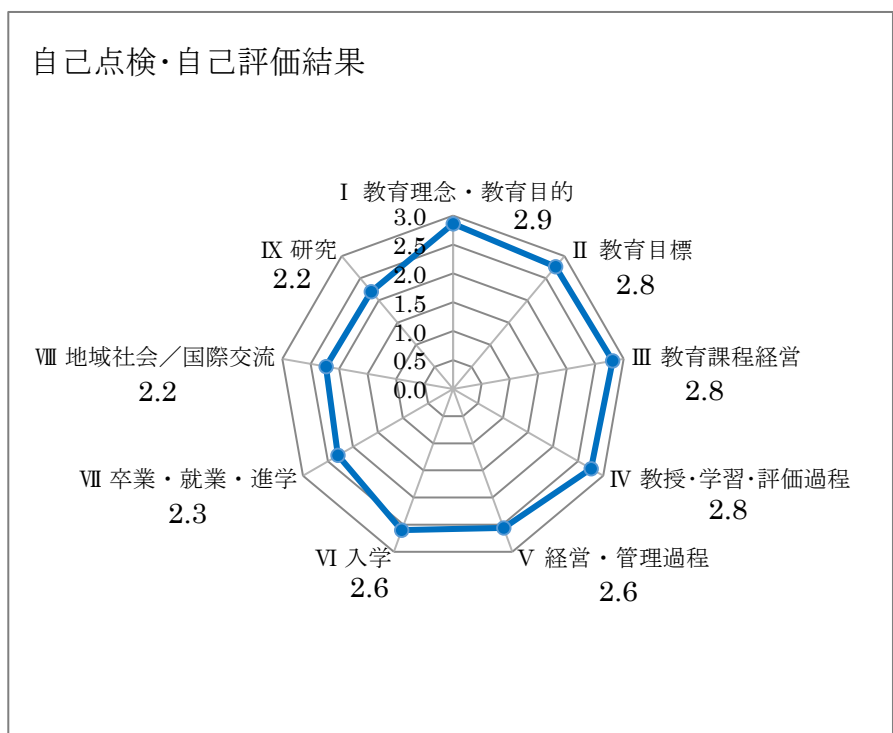
専修学校における学校評価は、平成19年の学校教育法の改正により、教育活動及び学校運営の質保証や向上に向けて、各学校の教職員が自校の理念・目的に照らし、自らの教育活動について評価を行う「自己評価」の実施と結果の公表が義務化されており、平成27年4月より専修学校となった本校でも取り組むこととなった。

自己評価に取り組むにあたり、学校長を委員長、副学校長・学務主事・副学務主事・管理職員・事務職員を委員とした学校評価会議を立ち上げ、厚生労働省の「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を参考に点検項目を検討し、自己点検・自己評価を行った。

2. 自己点検・自己評価結果

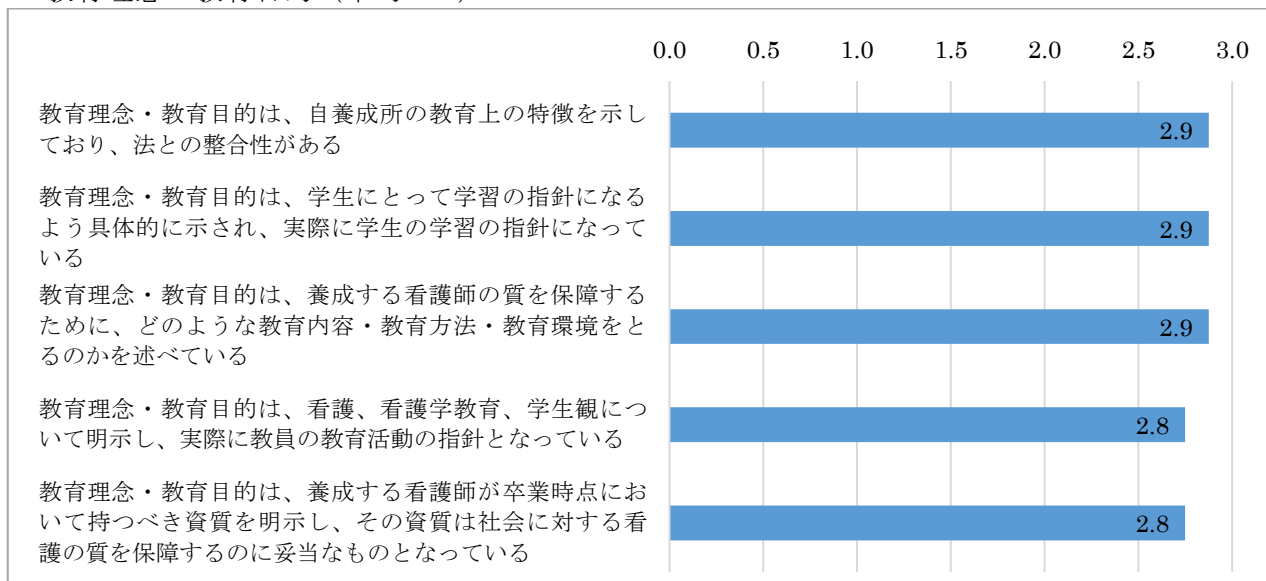
評価は9カテゴリー67項目を3段階の評価基準（3：よく当てはまる、2：大体当てはまる、1：当てはまらない）で実施。以下はカテゴリー（I～IX）ごとの平均値を図にしたものである。

カテゴリー (項目数)
I 教育理念・教育目的 (5項目)
II 教育目標 (5項目)
III 教育課程経営 (15項目)
IV 教授・学習・評価過程 (12項目)
V 経営・管理過程 (14項目)
VI 入学 (2項目)
VII 卒業・就業・進学 (4項目)
VIII 地域社会/国際交流 (7項目)
IX 研究 (3項目)



上記の結果から、6つのカテゴリーで2.6以上の高い数値となり、I～IVについては昨年度より0.2～0.3の上昇が見られた。各カテゴリー別における結果は次の通りである。

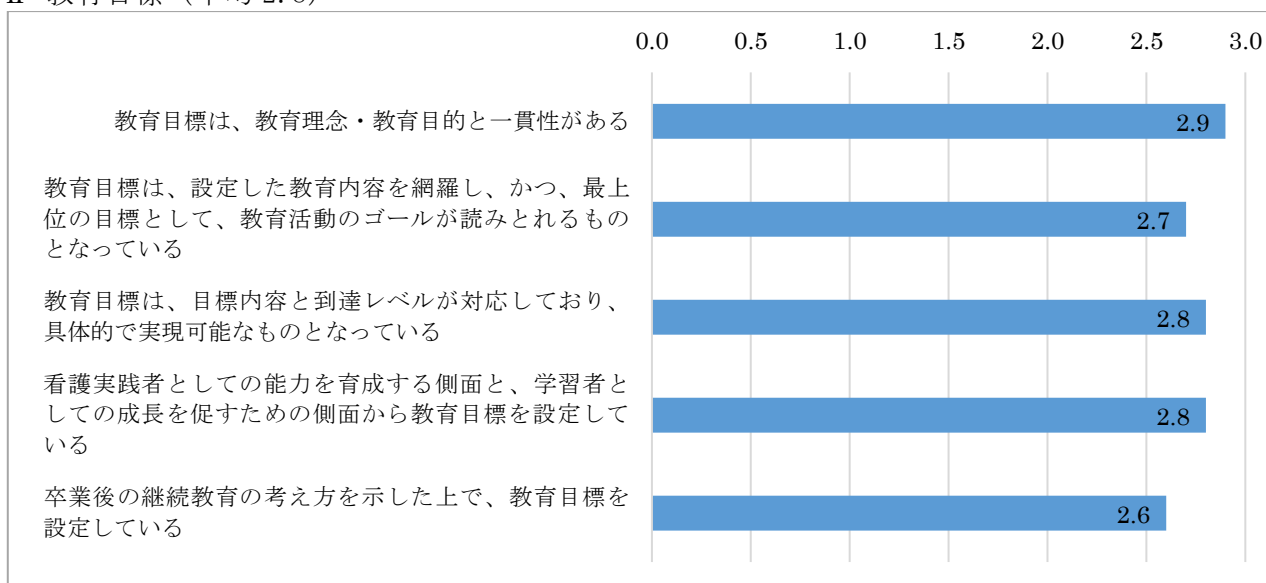
I 教育理念・教育目的（平均 2.9）



【課題】

- ・卒業時だけでなく、卒業後の看護師像も盛り込んだ文章の検討。

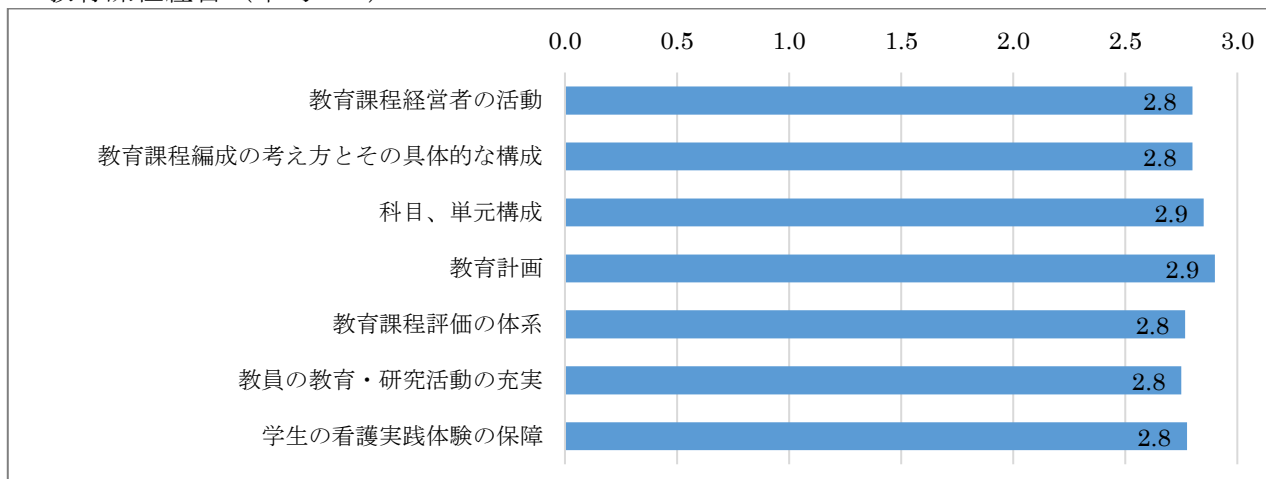
II 教育目標（平均 2.8）



【課題】

- ・“看護職の役割”と一言ではなく、もっと具体性を持たせた文章の検討。

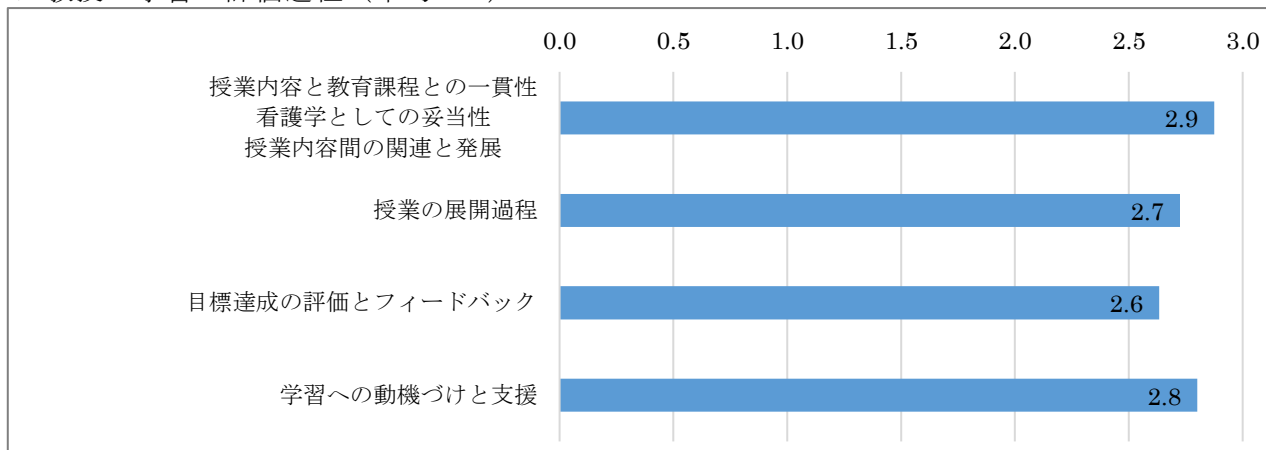
III 教育課程経営（平均 2.8）



【課題】

- ・ 学生の実習に対する評価方法を再検討し、実習指導者で統一していく。

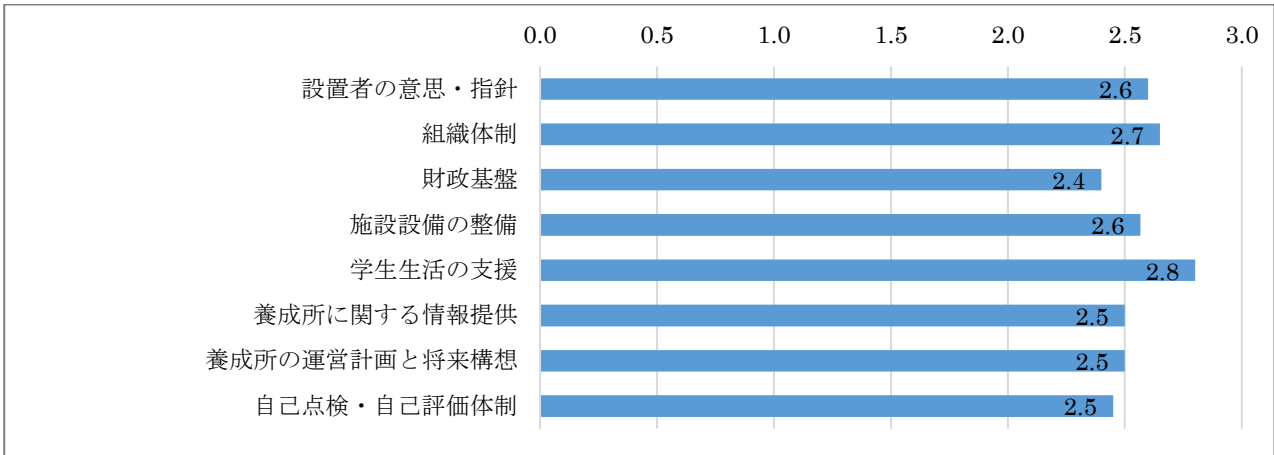
IV 教授・学習・評価過程（平均 2.8）



【課題】

- ・ 授業内容の重複の確認と調整。
- ・ 教員の指導力の差。
- ・ 目標達成の評価方法の検討。

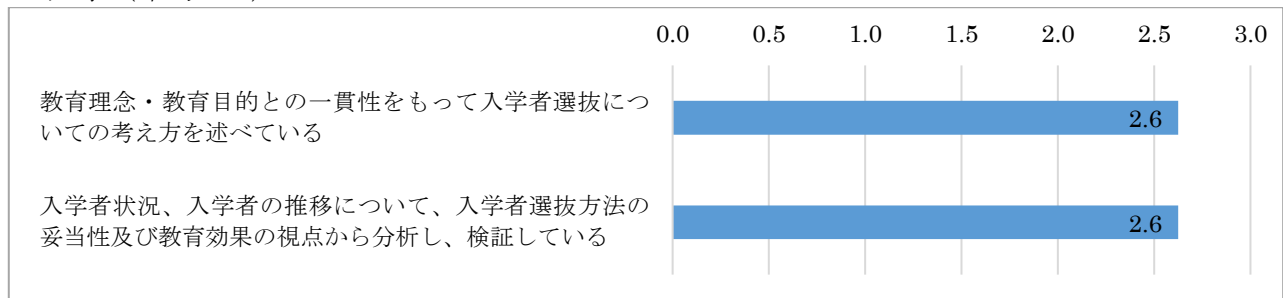
V 経営・管理過程（平均 2.6）



【課題】

- ・各学年の最初から十分な指導・管理体制がとれるよう、会議等で確認する。

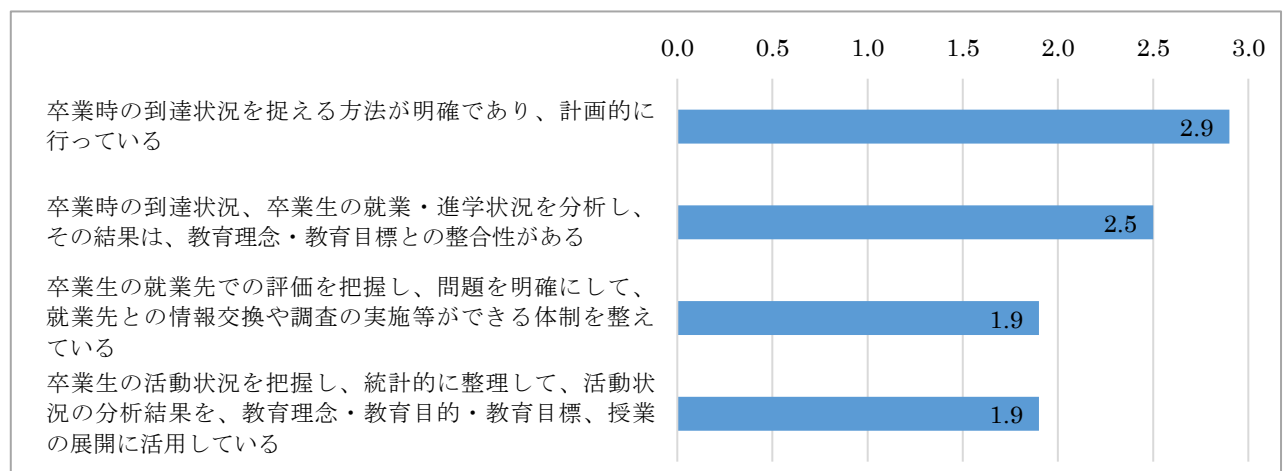
VI 入学（平均 2.6）



【課題】

- ・定員充足ではなく、入学者の「質の確保」を最重要点とする入試方法等の検討。

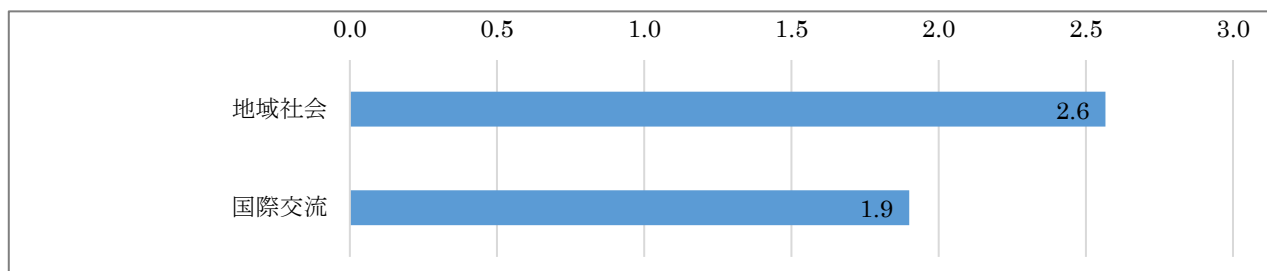
VII 卒業・就業・進学（平均 2.3）



【課題】

- ・卒業後の就業状況や活動状況等の把握。

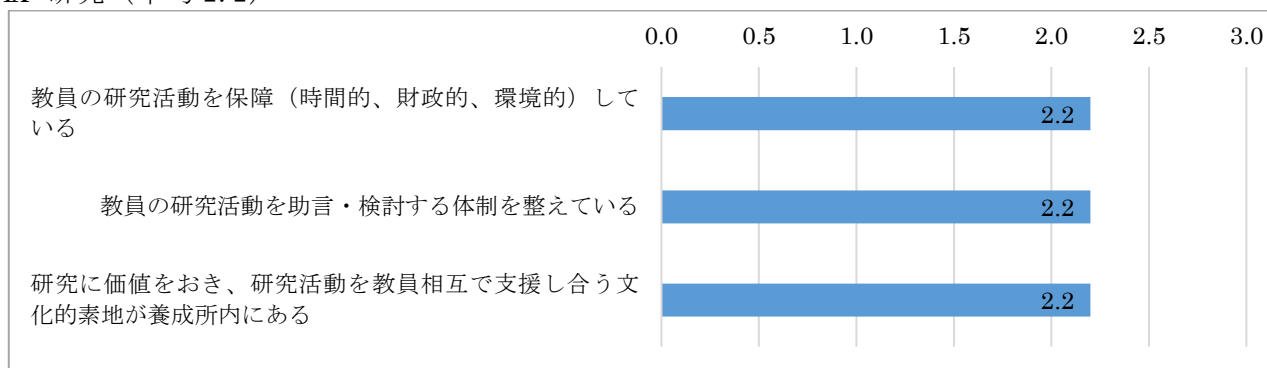
VIII 地域社会／国際交流（平均 2.2）



【課題】

- ・地域との連携や国際的な活動に関する意識の向上。

IX 研究（平均 2.2）



【課題】

- ・教員の研究活動が活発になるような情報提供。
- ・学会発表等の業績を増やし公開する。

3. 今後の課題

今回の評価では、6つのカテゴリーで2.6以上の高い数値となった。しかし、項目別で見ると1.9と低値の項目もあり、課題である卒業生のフォローアップは検討していく必要がある。

本校では「看護師国家試験合格100%」を目標に教育活動に取り組み、5年連続で達成できしており、この結果は目標に向けた教育活動が継続して行えていると言える。

今後も継続し、さらにレベルアップした教育活動ができるよう、学校評価であげられた課題に取り組み、質の維持・向上につなげていきたい。

【課題】

- ①卒業生の動向を把握する手段を考え実行する。
- ②入学希望者・入学者の質を確保するための方法について検討する。
- ③教員の研修や研究活動が活発になるような支援体制を整える。
- ④教科内容の充実を図り、地域との連携や国際的な活動に関する意識を高める。